

令和7年度

「運営に関する計画・自己評価（最終評価）」

大阪市立住吉幼稚園

令和8年3月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

『安全・安心な教育の推進』の取組では、園内の異年齢の交流や小学校や保育所、地域との交流などを重点的に考えながら、保育の内容を検討して進めていきたい。周りの人との関わりにおいては、幼児の実態把握をし、どのような教師の働きかけが効果的なのかを意見交換しながら、課題を元に、年間計画を立て、実態に合わせて取り組んでいきたい。道徳心・社会性の育成の取組では、集団生活を送る中で、遊びの中で自分の思いを出したり、ルールやきまりを話し合ったりするなど、年齢に合わせて、様々な場面で指導方法を工夫しながら、子どもが主体的に活動できるように、取り組んでいきたい。安全面では、視覚教材や実演など、子どもへの分かりやすい安全指導の方法を検討し、保護者への啓発も含めて取り組むたい。『未来を切り拓く学力・体力の向上』の取組では、予測困難な社会状況の中でも、たくましく生き抜く幼児を育てることが求められるため、保護者と連携を図りながら、健康的な生活習慣を身につけたり、体を動かして遊ぶ楽しさを感じたりできるように指導方法を考えたい。また、園の特色である自然環境や教育環境について、遊びの中での幼児の実態把握に努め、環境を見直したり、指導方法を工夫したりしていきたい。『学びを支える教育環境の充実』の取組においては、園芸活動で、保護者に伝達、教職員で遊びの中での幼児の学びの姿を捉え、幼稚園教育要領の幼児期の終わりまでに育ててほしい姿に着目しながら、保護者や地域への情報発信にも努めていきたい。また、指導計画の見直し、保育内容が充実するように取り組んでいきたい。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- 保護者アンケート調査で「集団生活の中で自分の思いを伝えたり、相手の思いを聞いたりして、互いを認め合い、安心して過ごしていますか」という関連項目において肯定的な回答をする割合を90%以上にする。
- 保護者アンケート調査で「異年齢の友達や周りの人に進んで関わりを深め、思いやりの気持ちが育っていますか」という関連項目において肯定的な回答をする割合を90%以上にする。
- 保護者アンケート調査で「生活の中で安全に対する意識を高め、自分の生活や命を守るための行動力を身につけることができますか」という関連項目において肯定的な回答をする割合を90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 保護者アンケート調査で「自分の健康に関心を持ち、基本的な生活習慣を身につけていると思えますか」という関連項目において肯定的な回答をする割合を90%以上にする。
- 保護者アンケート調査で「考えたり工夫したりして遊ぶ中で、多様な経験や感情体験を通して満足感や達成感を感じていますか」という関連項目において肯定的な回答をする割合を90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 保護者アンケート調査で「保護者と連携を取りながら保育に取り組み、情報発信に努めたりしていますか」という関連項目において肯定的な回答をする割合を90%以上にする。
- 保護者アンケート調査で「自然環境や教育環境の充実に取り組んでいますか」という関連項目において肯定的な回答をする割合を90%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

学校園の年度目標

- 保護者アンケート調査で「幼稚園は、避難訓練、保育の中や保護者、区役所等による安全指導、保健指導などにより、生活の中で安全に対する意識を高め、自分の生活や命を守るための行動力を身につけるように努めていますか」という関連項目において肯定的な回答をする割合を90%以上にする。
- 保護者アンケート調査で「幼稚園は、集団生活の中で自分の思いを伝えたり、相手の思いを聞いたりして、互いを認め合い、安心して過ごせるように努めていますか」という関連項目において肯定的な回答をする割合を90%以上にする。
- 保護者アンケート調査で「幼稚園は、異年齢の友達や周りの人に進んで関わりをもち、思いやりの気持ちが育つように努めていますか」という関連項目において肯定的な回答をする割合を90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

学校園の年度目標

- 保護者アンケート調査で「幼稚園は、考えたり工夫したりして遊ぶ中で、多様な経験や感情体験を通して満足感や達成感を感じられるように努めていますか」という関連項目において肯定的な回答をする割合を90%以上にする。
- 保護者アンケート調査で「幼稚園は、子どもが体を動かす楽しさを味わえるような取り組みや、遊び込める環境づくりに努めていますか」という関連項目において肯定的な回答をする割合を90%以上にする。
- 保護者アンケート調査で「幼稚園は、保健指導やほけんだよりなどにより、自分の健康に関心をもち、基本的な生活習慣を身につけるように努めていますか」という関連項目において肯定的な回答をする割合を90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

学校園の年度目標

- 令和7年度末の長時間勤務時間において、教員の累計平均時間数を令和6年度より減らす。
- 保護者アンケート調査で「幼稚園は、幼稚園だよりやほけんだより、クラス・園長室だより、HP・貼り出しなどにより、情報発信に努めていますか」という関連項目において肯定的な回答をする割合を90%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

本園の運営に関する計画の目標は、すべての項目で（概ね）目標を上回って達成することができた。「安全指導」「異年齢交流」「地域や小学校との交流」「保健指導」については、年間計画（別紙1、2、3）を立て、園の実態とすり合わせながら計画的に取り組んだ。教師が意図をもって取り組むことで、子どもたちの育ちにつながっている。

子どもの実態や保育について教職員で共有し、話し合いを重ねたり、園内研修支援などを利用し外部の方に保育を見ていただいたりすることで、多面的に捉えることができ、教員の資質向上につながった。園の取組をさまざまな形で情報発信することで、地域や保護者の協力、理解につなげることができた。

教職員が連携し、互いに協力し合ったり、業務見直しや意識改革をしていったりすることが働き方改革につながると考え、今後も取り組んでいきたい。

大阪市立住吉幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○保護者アンケート調査で「幼稚園は、避難訓練、保育の中や保護者、区役所等による安全指導、保健指導などにより、生活の中で安全に対する意識を高め、自分の生活や命を守るための行動力を身につけるように努めていますか」という関連項目において肯定的な回答をする割合を90%以上にする。</p> <p>○保護者アンケート調査で「幼稚園は、集団生活の中で自分の思いを伝えたり、相手の思いを聞いたりして、互いを認め合い、安心して過ごせるように努めていますか」という関連項目において肯定的な回答をする割合を90%以上にする。</p> <p>○保護者アンケート調査で「幼稚園は、異年齢の友達や周りの人に進んで関わりをもち、思いやりの気持ちが育つように努めていますか」という関連項目において肯定的な回答をする割合を90%以上にする。</p>	A
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況
<p>取組内容①【1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>安全な生活が送れるように、学校安全計画に基づき、年間計画(別紙1)を立て、安全指導を実施し、啓発を図る。</p> <p>指標 安全指導を実施し、視覚教材を用いて、幼児、保護者に啓発する。(年10回)</p>	A
<p>取組内容②【2 豊かな心の育成】</p> <p>異年齢や小学校や保育所との交流を年間で継続して行い、自分の思いを伝えたり、相手の思いを聞いたりして、思いやりの気持ちをもって互いを認め合い、安心して過ごせるような保育に取り組む。</p> <p>指標 異年齢交流、地域との交流の年間計画(別紙2)を作成し、幼児の実態に合わせて、見直しながら実施する。</p>	A
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>【年度目標について】</p> <p>○年度末の保護者アンケート調査で「幼稚園は、避難訓練、保育の中や保護者、区役所等による安全指導、保健指導などにより、生活の中で安全に対する意識を高め、自分の生活や命を守るための行動力を身につけるように努めていますか」という関連項目において肯定的な回答をする割合が100%(思う80%、概ね思う20%)であった。</p> <p>○年度末の保護者アンケート調査で「幼稚園は、集団生活の中で自分の思いを伝えたり、相手の思いを聞いたりして、互いを認め合い、安心して過ごせるように努めていますか」という関連項目において肯定的な回答をする割合が100%(思う72%、概ね思う28%)であった。</p> <p>○年度末の保護者アンケート調査で「幼稚園は、異年齢の友達や周りの人に進んで関わりをもち、思いやりの気持ちが育つように努めていますか」という関連項目において肯定的な回答をする割合が100%(思う89%、概ね思う11%)であった。</p>	

【取組内容について】

- ① 安全指導の年間計画（別紙1）を立て、見通しをもって安全指導を行えるよう取り組み子どもたちの意識を改善できた。
- ・ 5月「ザリガニ釣りの約束」
5歳児がクラスで約束を話し合い、3歳児や4歳児、他園の友達に視覚教材を用いて知らせた。5歳児が伝えることで、子どもたちは興味をもって話を聞くことができた。
 - ・ 5月「交通安全指導（住吉警察）」
住吉警察に依頼し、交通安全指導を行った。PTA行事として、PTA安全教育委員の方の協力の下で行ったことで、保護者の方も主体的に参加し、親子で交通安全について考える機会となった。
 - ・ 6月「プール遊びの約束」
プール開きで、子どもたちがプール遊びに期待をもっているタイミングにプール遊びの約束を知らせた。教師が実際に演じることで、子どもたちから「それは危ないよ」などと教師に知らせる姿もあり、約束を理解していた。遊びに夢中になると、気持ちが高まり危ない場面があったが、多数の教師で見守る体制をつくることで即座に対応することができた。
 - ・ 7月「夏休みの安全な過ごし方（防犯・熱中症対策）」
スーパーでの事例や、夏の戸外での事例を教師が実演することで、子どもたちにとって身近に感じより約束を守ろうという気持ちになった。また、終業式に行ったことで、保護者啓発にもつながった。
 - ・ 8・9月「交通安全指導」（住吉区役所）
住吉区役所に依頼をし、交通安全指導をしていただいた。交通ルールや、踏切の渡り方など、地域の実態に沿った安全指導を人形劇でもらったことで、子どもたちも関心をもって聞いており、安全について知る機会となった。また、始業式に行うことで保護者の方にも一緒に見てもらうことができ、保護者啓発にもつながった。
 - ・ 10月
園外保育で、電車に乗って園外に出る機会があったため、電車の乗り方や、マナーなどを知らせた。その都度知らせていくことで、回数を重ねるごとに、自分たちで意識して安全にマナーを守って電車に乗れる子どもが増えた。
保健指導で、園内の安全マップづくりを行った。5歳児が園内の危険な場所を探し、3、4歳児に知らせた。自分たちで探したことで、気を付けようという意識につながった。
 - ・ 11月
製作活動が増えたことで、ハサミやセロハンテープ台でけがをする子どもが増えた。安全な道具の使い方をクラスで知らせたり、個別に言葉かけをしたりしたことで、子ども同士で言葉かけの姿も見られるようになった。引き続き、安全に道具を扱えるよう指導していきたい。
 - ・ 12月1月「寒い時期の過ごし方」
ポケットに手を入れない、袖から手を出す、上着のチャックを閉めるなどの約束を終業式に職員による寸劇で安全指導を行った。身近な先生が演じることで、子どもたちはより関心をもって聞くことができた。子ども同士の会話などから、安全に対する意識の高まりは感じるが、寒さから袖に手が隠れていたり、チャックをし忘れたりする姿がある。引き続き言葉かけ、意識できるよう取り組んでいきたい。
 - ・ 12月～3月
寒い日には、園庭で遊ぶ前に体操を取り入れ体を温めてから遊ぶなど、けがにつながらないよう保育を工夫した。
- 季節や保育内容に応じて内容を検討し計画的に安全指導を行ってきたことで、安全に過ごすことができた。また、年長児から伝えたり教職員で寸劇を行ったりと伝え方を工夫したことが、子どもたちの関心につながり意識を高めるきっかけとなったと考える。

②<1学期>

5歳児は3歳児の朝の用意を手伝ったり、体重測定の方法を教えたりする中で、3歳児と目線を合わせたり話し方を工夫したりしながら、自分なりに優しく関わろうとする姿が見られた。また、5歳児青組と3歳児桃組の保育室が隣にあることで、自然と5歳児が遊んでいる姿に興味をもち、5歳児の歌を聞いたり、一緒に手遊び歌を楽しんだりしていた。5歳児が歌や体操、ふれあい遊びを4歳児や3歳児に知らせて一緒に遊ぶなど、意図的に関われる機会をもったことが、普段の遊びの中でも関わって遊ぶ姿につながった。

園庭では、時間を合わせて園庭で遊ぶことで、色水遊びや泥遊び、運動遊具を使った遊びなど互いに刺激を受けながら遊ぶ姿が見られた。特に色水遊びでは、5歳児がジュース屋さんを始めると、4歳児や3歳児も「やってみよう」と興味をもち、真似て遊んでいた。5歳児は、他園の幼稚園の子どもたちと一緒にザリガニ釣りをしたり、一緒に体操をしたりしたことで、いろいろな人に親しむようになった。

<2学期>

おじいさんおばあさんと遊ぶ会の会では、自分の祖父母以外にも親しみをもって関わる姿が見られた。特に5歳児は、来てくださった祖父母に、お盆にお茶を乗せて運び「どうぞ」とお茶を出すことを、緊張しながらも喜ぶ姿が見られた。祖父母に保育室に入ってもらい、一緒に遊んだり、集会ではお手玉やこま、あやとりなどを披露してもらったりしたことで憧れや尊敬の気持ちをもつ姿につながった。

1クラスが園庭で運動会ごっこをしているときでも、他クラスは園庭に出て遊べるようにしていたことで、自然と各クラスの運動会ごっこに興味をもち、見たり応援したりする姿が見られた。また、5歳児が運動会に向けて楽しんでいたカラービニールの遊びやパラバルーン遊びに4歳児が興味をもっている姿を教師が受け止め、5歳児の姿を見れるようにしたり、タイミングよく道具や音楽を準備し遊べるようにしたりしたことで、憧れだった5歳児の遊びを真似て遊ぶ姿につながった。やりたいと思ったことを友達と一緒に実現できたことが自信となった。

大阪市立音楽会の前には、5歳児が3、4歳児に歌を聞いてもらうことで、綺麗な歌声や笑顔を意識して歌おうとする姿が見られた。3、4歳児に認めてもらったことが自信となり、音楽会への意欲につながった。また、5歳児の歌を聞き、いつでも5歳児の保育室前に3、4歳児が集まって一緒に歌を歌っていたことで、園全体で共通の歌を楽しむ姿につながった。

子ども展覧会では、各クラスの作品を見回することで、異年齢の友達の作品に興味をもって見たり、刺激を受けたりする姿が見られた。5歳児が3歳児に自分の作品を紹介したことで、3歳児も自分の作品を紹介したいと意欲をもち、5歳児を真似る姿が見られた。5歳児の手を引き、作品を見てもらったことが、3歳児の満足感につながった。

<3学期>

生活発表会では、劇や歌、合奏を行った。5歳児は、生活発表会に向けて友達と考えを伝え合いながら、一つ一つの役柄について特徴を共有したり、劇の流れを考えたりしてきた。日々遊ぶ中で「今日〇〇ちゃんの声昨日より大きかったな」「〇〇くん木琴教えて」など、自然と友達と認め合う姿が見られた。5歳児が3歳児の歌を聞いたり、聞いた後にどう思ったか発表できるようにしたりしたことで、「青組みたいに大きい声になった」「振付が可愛い」と頑張っている3歳児の歌を認める姿が見られた。また、5歳児に頑張りを認めてもらったり5歳児の歌の見本を見せてもらったりしたことが、3歳児の刺激となった。4歳児が5歳児の歌や劇を見られるようにしたことで、憧れの気持ちをもち、「はやく青組になりたい」と気持ちが高まる姿が見られた。全クラス保育室から聞こえてくる歌や楽器の音に惹かれて他クラスに行った際、どのクラスの担任も異年齢の友達を温かく迎え入れていたことで、異年齢の友達に憧れや親しみの気持ちをもつ姿につながった。

5歳児は住吉小学校の1年生に小学校の体験をさせてもらった。1年生に1対1でついてもらい、1年生の先生に数字を教えてもらったり、丸付けをしてもらったりした。また、タブレットを使って〇×ゲームをしたり、教科書を少しずつ追加してもらいながらランドセ

ルを背負ったりした。5歳児は、「1年生優しかった」「勉強楽しかった」「1年生の友達で
きたから嬉しい」などと言い、お礼の気持ちを手紙に書いたり、小学校進学への期待が高
まったりした。

3、4歳児は5歳児に年間を通して優しく関わってもらったことから、自分がしてもら
ったように年下の友達に優しくしようとする思いやりの気持ちが少しずつ育ってきてい
る。4歳児は、3歳児がリレーをしているところに加わり、3歳児が困っていると、バト
ンを誰に渡すか教えたり、一緒に列に並んであげたりする姿が見られた。また、3歳児は、
未就園児が幼稚園に遊びに来たときには、「おもちゃ貸してあげないと」「優しくしてあげ
ないと」と言って、意識する姿が見られた。実際に未就園児と関わって遊ぶことは少ない
が、気持ちが育ってきていることから、教師が子どものモデルとなるよう未就園児と関わ
っていく姿を見せていくことで、優しく関わろうとする姿につながると考える。

次年度への改善点

- ① 次年度も、実態把握に努め、必要な安全指導を取り入れていき、安全意識の向上を図っ
ていく。
- ② 次年度も子どもたちが認め合ったり思いやりをもったりできるよう、教職員が温かい雰
囲気で子どもたちに関わり、異年齢が互いにいい刺激を受け合えるよう保育を工夫して
いく。

大阪市立住吉幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【未来を切り拓く学力・体力の向上】 学校園の年度目標 ○保護者アンケート調査で「幼稚園は、考えたり工夫したりして遊ぶ中で、多様な経験や感情体験を通して満足感や達成感を感じられるように努めていますか」という関連項目において肯定的な回答をする割合を90%以上にする。 ○保護者アンケート調査で「幼稚園は、子どもが体を動かす楽しさを味わえるような取り組みや、遊び込める環境づくりに努めていますか」という関連項目において肯定的な回答をする割合を90%以上にする。 ○保護者アンケート調査で「幼稚園は、保健指導やほけんだよりなどにより、自分の健康に関心をもち、基本的な生活習慣を身につけるように努めていますか」という関連項目において肯定的な回答をする割合を90%以上にする。	A
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【3 幼児教育の推進と質の向上】 幼稚園教育要領や就学前教育カリキュラムを活用し、多様な経験ができるように、教育課程の見直しを行う。 ----- 指標 ・日々の指導計画から年間の教育課程の見直しを行う。	A
取組内容②【4 誰一人取り残さない学力の向上】 身近な環境に主体的に関わり、自ら体を動かす楽しさを味わえるような集会や体操を行う。 ----- 指標 ・体操や仲良し遊びを取り入れた集会を行う。(月2回)	A
取組内容③【5 健やかな体の育成】 基本的な生活習慣が身につくように、保健指導や指導後の継続した取組を行う。 ----- 指標 ・実態に合わせた保健指導に取り組む。(別紙3) ・保健指導後、担任と養護教諭が継続した指導を行い、基本的な生活習慣が身につくようにする。 ・保健だよりや健康カレンダー、掲示等を活用し、保護者の啓発に努める。	A
取組内容④【9 家庭・地域等との連携・協働した教育の推進】 園庭の環境を生かし、遊びが展開できるような環境構成の見直しに取り組む。 ----- 指標 ・季節ごとの園庭の環境構成の見直しを、計画的に行う。	A
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析 【年度目標について】 ○年度末の保護者アンケート調査で「幼稚園は、考えたり工夫したりして遊ぶ中で、多様な経験や感情体験を通して満足感や達成感を感じられるように努めていますか」という関連項目において肯定的な回答をする割合が100%(思う87%、概ね思う13%)であった。 ○年度末の保護者アンケート調査で「幼稚園は、子どもが体を動かす楽しさを味わえるよ	

うな取り組みや、遊び込める環境づくりに努めていますか」という関連項目において肯定的な回答をする割合が100%（思う91%、概ね思う9%）であった。

- 年度末の保護者アンケート調査で「幼稚園は、保健指導やほけんだよりなどにより、自分の健康に関心をもち、基本的な生活習慣を身につけるように努めていますか」という関連項目において肯定的な回答をする割合が100%（思う89%、概ね思う11%）であった。

【取組内容について】

- ① 教育課程を教職員で回覧し、加筆修正・見直しを行った。加筆修正や見直しを行うことで、子どもの実態や興味に合った活動や教師の教育的意図をもった働きかけを記録に残すことができた。また、日ごろの保育指導計画は、日案に加えて週案を用いて、予定の確認や共有を行った。週案作成時や日々の保育の中で、就学前教育カリキュラムや大阪市立幼稚園教育研究会参考教育課程「世界を拓くなにわっ子」を活用し、季節の絵本や遊び、教師の教育的意図をもった働きかけを参考にしながら、遊びの内容を検討したり、環境準備を行ったりした。特に新任教諭は事前に教育課程を読むことで、次月の保育に見通しをもつことができた。

6月には、指導要請を行った。スーパーボールすくいや、色水遊び、新聞ボール遊びなど、全園児が一緒に同じ場で遊ぶ時間をもてるようにした。保育後には、子どもの興味や遊びの変容について話し合い、どの子どもも楽しめるよう環境を再構成することを繰り返し行った。教職員で子どもの様子を多面的に見取り、考えを出し合って日々環境を再構成することが、子どもたちが主体的に遊ぶ姿や教師の資質向上につながった。

9月に、園内研修支援を利用し、運動会に向けての遊びを見ていただいたことで、運動会への取り組みの糸口となり、教員の資質向上へつながった。

1月に、園内研修支援を利用し、生活発表会に向けての遊びを見ていただいた。絵本を通して子どもたちに伝えたいことや、子どもと一緒にどのように遊んでいくかななどを教えていただいたことで、自分の保育を振り返ったり学びを共有したりする機会となり、教員の資質向上につながった。

- ② 一人一人が楽しんで体を動かせるよう、子どもの実態から内容の検討をし、子どもの関心や季節に合わせた体操や仲良し遊びを取り入れた集会を毎月行った。クラスで楽しんでいる体操や仲良し遊びを他のクラスに知らせることで、異年齢同士で関わりながら体を動かす楽しさを味わうことができた。体操することが苦手な子どももいたが、集会の中で、いろいろな教師や異年齢の友達が、声をかけたり一緒に踊ったりすることで、少しずつ体を動かすことを楽しむようになった。

運動会に向けて、子どもの興味や関心を探ったり、実態を教職員みんなで話す機会をもち、一人一人が体を動かす楽しさを感じたりできるような内容を検討した。一学期から体操や仲良し遊びを継続して行ってきたことで、自信をもって取り組むことができたと感じる。5歳児は、運動遊具に取り組み、根気強く何度も挑戦したことが達成感につながった。サーカス団ごっこやリレーを通して、みんなで成功させたいという共通の思いをもち、全員で考える機会を繰り返すにつれて、団結力にもつながった。4歳児は、生き物が好きな子どもが多くいたことから、様々な虫になりきって表現したり、フープを使った遊びを自分たちで考えたりした。大人数がいる場で体を動かすことが苦手だった子どもが多かったが、振り付けを子どもと一緒に考えたり、教師とどちらが大きく踊れるか競争をしたりと楽しめるような工夫した。経験を重ねることで自信につながり、運動会では、たくさんの保護者の前でも楽しそうな表情でダンスを踊ることができた。満足感につながったと感じる。3歳児は、1学期からピクニックをして遊ん

だり、自分たちでサーキットコースを考えて楽しんだりしていたことを取り入れた。お弁当の歌など日々の生活を取り入れたことで無理なく楽しみながら体を動かす楽しさを感じられた。

寒い時期には、先に体操をし、体を温めてから遊ぶことで、体が動かしやすくなり、他の遊びを始めやすくなった。けが防止にもつながった。

〈4月〉 どうぶつ体操 1・2・3

〈5月〉 ダンゴムシ体操

〈6月〉 こいぼり体操、仲良し遊び「よろしくね」

〈7月〉 かえるの体操、エビカニクス

〈8・9月〉 ふれあい遊び「むしむしじゃんけん」、めっちゃ元気体操

〈10月〉 むしむしフェスティバル、げんきだね、おばけのバケちゃま

〈11月〉 どんぐりきのこおいも

〈12月〉 ジングルベル

〈1月〉 秘伝ラーメン体操

〈2月〉 おでんぐつぐつ体操

〈3月〉 誕生月なかま、仲良し遊び「ともだちできちゃった」

- ③ 今年度の学校保健計画に基づいた保健指導の計画を立案し、実践と反省を繰り返すことで、園の実態に沿った保健指導を行った（別紙3）。4歳児、5歳児に対しては、園児の実態を踏まえ、昨年度の保健指導とのつながりを持たせた保健指導を実施するようにした。3歳児に対しては、園での生活の様子を詳しく見聞きするようにし、課題を見つけ、それに対する保健指導を行うようにした。指導後には、掲示した教材を何度も見たり触ったりして、指導の内容を振り返る姿が見られた。また、保健指導の内容を教師や保護者に教えたり、言動が変容したりする園児の姿が見られた。

指導の内容は、保護者にほけんだよりやホームページ、けんこうカレンダーにて周知、啓発を行った。けんこうカレンダーでは、指導の内容を簡単に記載し、色塗りやシール貼りで楽しみながら取り組めるようにした。また、色塗りが難しい園児でも取り組みやすいように「えにいろをぬったり、まるをかいたりしましょう」と明記したことで、提出率や親子で取り組む家庭が増加した。

今年度の新しい取り組みとして、自分と他者を大切にする気持ちを育むために、生命の安全教育に関する保健指導を2回実施した（6月：プライベートパーツ、11月こころのげんきめーたー）。園児が着替えやトイレの場面で周囲に見られないようにする姿が見られるようになったり、園児同士のけんかやトラブルが減少したりした。また、生命の安全教育に関する実践を行うことにより、教職員や保護者の意識も高まり、着替えの環境整備にもつなげることができた。

- ④ 全園児が時間を合わせて園庭で一緒に遊ぶ時間をもつようにした。互いに影響を受けながら遊ぶ様子が見られた。園庭の池でザリガニ釣りをして遊ぶ姿が多く見られた。教師と一緒に楽しむことで4、5歳児は釣れた嬉しさや、できるようになった喜びを教師に伝える様子が見られた。3歳児は4、5歳児の様子を見て「やってみよう」と興味をもち、真似たり釣ってもらったりして楽しんでいった。池の藻や水草を取り除いたり溜まった泥を少しずつ排除したりして安全、安心にザリガニ釣りができる環境を整えた。6月からは、暑さへの対策としてテントや遮光ネットの設置を行い、水遊びの環境を整えた。幼児の動線を考え、遊具を移動させるなど、見直しを行ったことで遊びやすい環境の見直しにつながった。園庭の畑では、前年度から育ててきたジャガイモやソラマメなどを収穫し持ち帰ったり、金柑や梅の実の収穫をしたりすることで園庭の植物に関心を

もつ様子が見られた。園庭や畑の雑草除去や枝の伐採作業など、園庭の環境を整え、子どもが自然に親しみをもつことができた。

2学期に入り、運動遊具に挑戦しやすい環境づくりをしたり、リレーやかけっこを楽しめるようバトンやカラーコーンなどの用具を用意したりすることで、主体的に挑戦したり遊んだりする子どもが増えた。運動会の遊びをしているクラスがいても、他のクラスが園庭で遊べるように環境を整えたことで、互いに見合うことができ興味や関心を持ち、応援したり、年上の友達に憧れの気持ちをもったりすることができた。

冬野菜やチューリップを個人の植木鉢で栽培し、各クラスの前に置いた。クラスの前に置くことで登園時に変化を見つけやすくなったり、水やりへの意欲が高まったりしている。身近に観察できるような環境を整えたことで、生長に喜びを感じるようになっていた。

3学期にはリレーや鬼ごっこ、サッカー遊びなど戸外で元気に体を動かして遊ぶ中で安全に広い環境を整えるために、自転車やスケーターなど遊具の配置を見直した。配置を変更したことによって子どもも出し入れがしやすくなり、意欲的に挑戦しようとする子どもが増えた。

次年度への改善点

- ① 次年度も子どもの実態を探りながら保育内容を工夫し、教育課程に反映していく。
- ② 今後も体を動かす楽しさを感じられる体操や仲良し遊びを取り入れていく。寒い季節に入るが、体を動かすことで体が温まる経験や、寒さに負けず戸外で遊ぶ楽しさを感じられるような保育内容を工夫する。
- ③ 保健指導後にも個別の指導や支援を必要とする子どもたちがいるため、教職員間で情報共有し、継続した指導を行う必要がある。
- ④ 今後も、子ども実態や興味や関心を探り、環境を見直していく。

大阪市立住吉幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 学校園の年度目標 ○令和7年度末の長時間勤務時間において、教員の累計平均時間数を令和6年度より減らす。 ○保護者アンケート調査で「幼稚園は、幼稚園だよりやほけんだより、クラス・園長室だより、HP・貼り出しなどにより、情報発信に努めていますか」という関連項目において肯定的な回答をする割合を90%以上にする。	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 保育の打ち合わせを効率よく実施し、働き方改革を進める。 指標 職員会議や共通理解を効率よく行い、長時間勤務を昨年度より減らし、働き方改革に努める。	A
取組内容②【9 家庭・地域等との連携・協働した教育の推進】 保育の充実とともに、保育内容の情報発信に努める。 指標 保育内容について、クラス・園長室だより、HP・貼り出しなど、情報発信に努める。	A

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
【年度目標について】 令和7年度末の長時間勤務時間において、教員の累計平均時間数を令和6年度よりも減ってきている。互いに仕事量を確認しながら、効率よく仕事が終わるように努めている。 ○年度末の保護者アンケート調査で「幼稚園は、幼稚園だよりやほけんだより、クラス・園長室だより、HP・貼り出しなどにより、情報発信に努めていますか」という関連項目において肯定的な回答をする割合が100%（思う85%、概ね思う15%）であった。
【取組内容について】 ① 様々な勤務形態の職員がいるので、職員会議や打ち合わせの日程を計画的に立てることで、各係が計画的に準備を進めることができた。転勤してきた教諭や新任教諭が多いことで、打ち合わせに時間を要してしまうこともあったが、丁寧な打ち合わせをすることで、行事をスムーズに進めることができたと考える。反省会のもち方については、1、2学期にうまく時間をつくれなかったことから、隙間時間を見つけて反省会を行ったり、次回の打ち合わせ時に反省も含めて打ち合わせをしたりした。その際、自分の意見をもって打ち合わせや反省会を行うことで、時間の短縮につながった。記録の残し方や片づけ方を工夫することで、次年度以降の効率化につながるよう心掛けた。一人一人が計画的に進めたり、全体に目を向けたりすることで、協力体制ができ、より効率よく仕事が進められるよう今後も努めていきたい。
② 「園長室、クラスだより」を毎月配布している。「クラスだより」ではクラスの実態や保育内容、ねらい、教育的意図をもった働きかけが保護者に伝わるように写真やコメン

トをつけるなど工夫した。「園長室だより」では地域との関わりを取り上げ、住吉幼稚園の取組を知らせた。HPでも幼児の姿を分かりやすく掲載して、地域に発信している。また、本年度より貼り出しによる情報発信を月に一度、玄関の見えやすい場所に掲示することで、保護者の目に留まりやすくなり、幼稚園の教育活動への理解につながっていると考える。

次年度への改善点

- ① 今後も、効率よく仕事が終わるように一人ひとりの意識を高め努めていく。
- ② 引き続き保護者や地域に保育内容が伝わりやすい工夫をしていく。